AirStation WLAR-L11-L

インターネット スタートガイド

本書には、CATV/xDSL 網を使用して、無線／有線 LAN パソコンからインターネットへ接続するための手順を説明しています。
本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■文中マーク／用語表記

注意マーク

⚠注意 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモマーク

メモ 製品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。

参照マーク

▶参照 関連のある項目のページを記しています。

- 文中 [ ] で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。
- 文中『 』で囲んだ名称は、ソフトウェアやダイアログボックスの名称を表わしています。
- 本書では原則として WLAR-L11-L を AirStation と表記しています。
- 本書では原則として弊社製無線 LAN カードを装着したパソコンを無線 LAN パソコンと表記しています。
- ケーブルで接続された 10/100BASE の LAN とケーブルを使用しない無線 LAN を明確にするために本書では次の用語を使用しています。
  有線 LAN…ケーブルで接続された LAN
  無線 LAN…無線通信を使用した LAN
  上記は、説明のために本書のみで便宜上使用する用語であり、一般的には使用されません。あらかじめご了承ください。
- 本書では原則として AirStation を設定するパソコンを設定用パソコンと表記しています。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等 (または役務) に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可 (または役務取引許可) が必要です。

はじめに

このたびは、AirStation WLAR-L11-L をお買いあげいただき誠にありがとうございます。WLAR-L11-L は、CATV/xDSL 網を使用して無線 LAN パソコンからインターネットに接続して、家庭からオフィスまで幅広くご活用いただける製品です。本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■　AirStation WLAR-L11-L の特長

- CATV/xDSL 網を使用してインターネット接続が可能。
- 有線 LAN －無線 LAN 間の通信が可能。
- IEEE802.11b に準拠し、無線上で通信速度 11Mbps の通信が可能。
- 4 ポートスイッチングハブ内蔵。
- 静的 IP マスカレード機能を搭載しているため、インターネットゲームに対応。
- Wi-Fi 認定済み。
- 従来弊社製品の 2Mbps モデルと通信・接続が可能。
- 屋内 50m/ 屋外 115m（見通し）までの通信が可能。

  ※ 11Mbps 通信時は、屋内 25m/ 屋外 50m（見通し）
  （ただし、スチール机やスチール棚などの金属製の物の近くや、電子レンジ・無線プリンタバッファの近くへの設置は、避けてください。また、遮断物の材質により通信距離が短くなり、通信速度が遅くなったり、通信ができなくなることがあります。）
- ローミング機能に対応。
- ネットワーク負荷を軽減する多チャンネル（14ch）機能を搭載。
- MAC アドレス登録機能／ WEP（暗号化）によるセキュリティ機能搭載。
- アップル社製 AirMac 対応の無線カードを搭載した iBook、iMacDV、G4（AGP モデル）との相互通信に対応。

  ※ Windows と Mac 間でのデータのやり取りには、それぞれのプロトコルを認識させるユーティリティソフトが別途必要です。Mac にインストールする「DAVE」、Windows にインストールする「PC MACLAN」等をご利用ください。

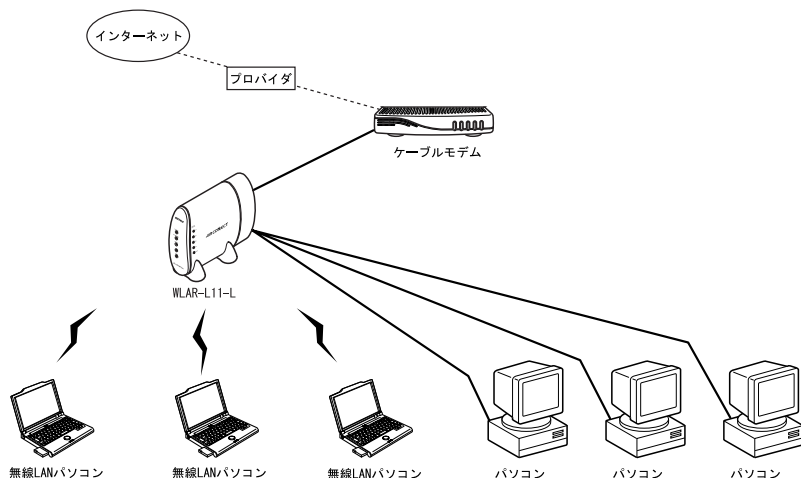
  ※ 使用できる無線チャンネルが以下のように異なるため、弊社製 2Mbps モデルと AirMac は同時に使用できません。
  弊社製 2Mbps モデル　: 14 チャンネルのみ
  AirMac　　　　　　　: 1 ～ 13 チャンネル

無線 LAN で広がるネットワークの世界

家庭でもオフィスでも、無線 LAN はこれからの主流といえます。
ケーブルがいらないので、部屋の美観を損ねないだけでなく、使い勝手がよくなります。また、ネットワークにパソコンを増設することも簡単です。

CATV/xDSL 網を使用して、同時に複数のパソコンからインターネットへの接続ができます

他の無線 LAN パソコンとファイルを共有できます

インターネット
プロバイダ
ケーブルモデム
WLAR-L11-L
無線LANパソコン
無線LANパソコン
無線LANパソコン
パソコン
パソコン
パソコン

1 台のパソコンにつながっているプリンタを、みんなで使えます

有線 LAN ー無線 LAN 間でファイルを共有できます

■　インターネット接続のための基本的なことは…

本書では CATV/xDSL 網を使用して無線 LAN ／有線 LAN パソコンからインターネットへ接続する場合の手順を説明しています。

■　さらにご理解を深めていただくためには…

インターネットへの接続ばかりでなく、有線 LAN と無線 LAN 間の通信など、さらに使いこなすために、別冊の『ネットワーク活用ガイド』を参考にしてください。

■　インターネットで情報サポート

AirStation ユーザのためのコミュニティサイト airstation.com にアクセスして、最新情報をキャッチしましょう。
http://www.airstation.com/

目　次

第 1 章　準備

第 2 章　Windows98/95 編

第 3 章　Windows Me 編

第 4 章　Windows2000/NT4.0 編

第 5 章　困ったときは

第1章 準備

■この章でおこなうこと

AirStation の設定を始める前の準備をおこないます。以後の作業を中断することなく、スムーズに進めるために大切なことについて説明しています。

1.1 あらかじめ確認してください

AirStation の導入をおこなう前に、次のことを確認しておく必要があります。

■　プロバイダ登録について

プロバイダ会社とのインターネット接続契約は、お済みですか。AirStation をお使いになる前に、CATV/xDSL プロバイダ会社との契約を済ませておいてください。

AirStation の設定時に下記の情報が必要です。お手元に、プロバイダから送られてきた資料をご用意ください。

- IP アドレスの設定（プロバイダから自動的に取得するのか、手動で設定するのか）
- AirStation の MAC アドレス※（AirStation の設定時に必要です。）

※ MAC アドレスは、製品に貼り付けられたシールに記載されています。シールの位置は、別紙『ご使用の前に必ずお読みください』の裏面の「5　各部の名称とはたらき」を参照してください。

■　対応するパソコン環境について

Windows Me/98/95, Windows2000/NT4.0

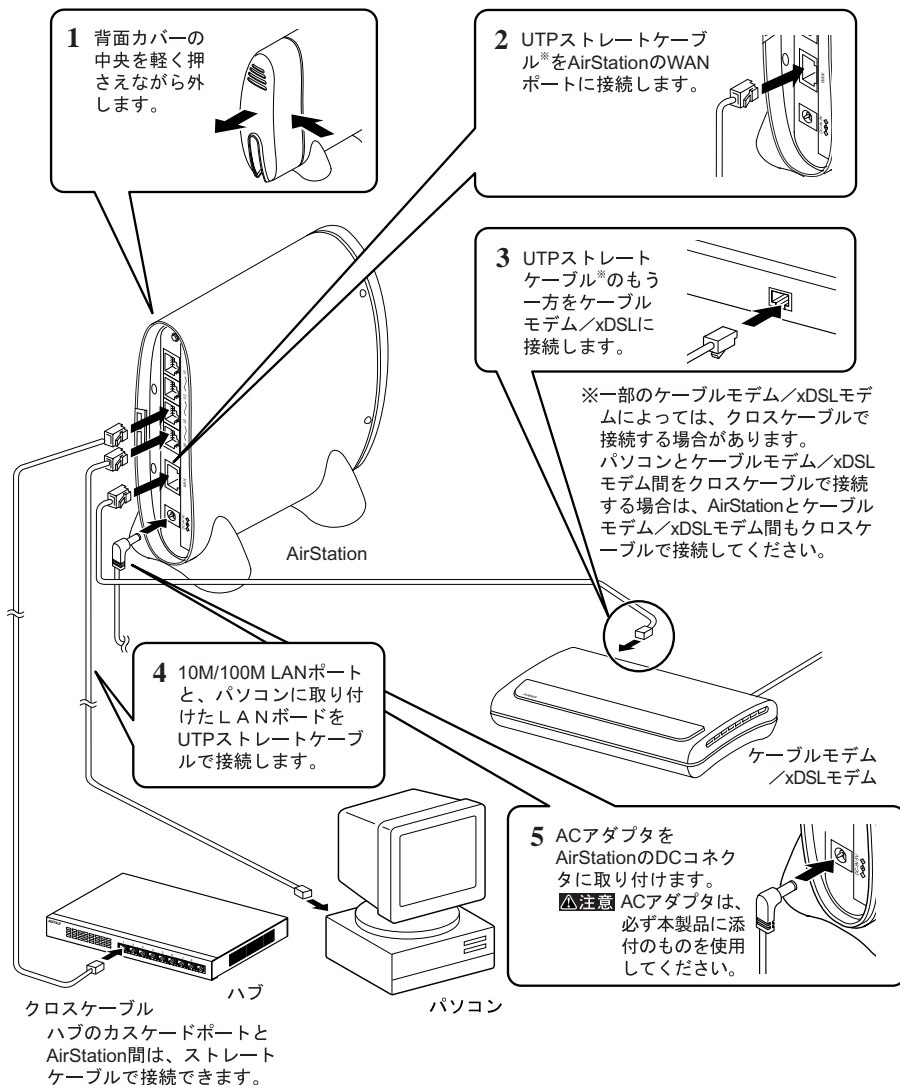
⚠注意　使用上のお願い

本製品は精密機器です。正しいご使用のために、本書を必ずお読みください。

パソコンの故障／トラブルまたは、取り扱いを誤ったために生じた AirStation の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。

1.2 AirStation の取り付け

■ 取り付け方

本製品の基本的な取り付け方について説明します。

1
準備

■　ケーブルモデム /xDSL モデムとの接続を確認します

以下の手順で、AirStation とケーブルモデム /xDSL モデムが正常に接続されていることを確認します。

1　付属の UTP ストレートケーブルで AirStation とケーブルモデム /xDSL モデムを接続し、AirStation の電源が ON の状態になっていることを確認します。

メモ　一部のケーブルモデム /xDSL モデムによっては、クロスケーブルで接続する場合があります。パソコンとケーブルモデム /xDSL モデム間をクロスケーブルで接続する場合は、AirStation とケーブルモデム /xDSL モデム間もクロスケーブルで接続してください。

2　前面パネルの WAN ランプの状態を確認します。

点灯しているとき：	ケーブルモデム /xDSL モデムとの接続は正常です。
消灯しているとき：	ケーブルモデム /xDSL モデムとの接続は正常ではありません。 UTP ストレートケーブルが確実に接続されているか確認してください。

1.3 AirStation とハブ／LAN ボード接続時の制限

■ AirStation とハブ／LAN ボードを接続する際の制限事項

使用できるケーブルの種類と長さには、次の制限があります。

10BASE-T の場合

接続	使用する UTP ケーブル	最長距離
本製品 (10/100M LAN ポート) 〜ハブ間	カテゴリ※1 3以上対応の クロスケーブル※2	100m
本製品 (10/100M LAN ポート) 〜 パソコン間	カテゴリ 3 以上対応の ストレートケーブル	100m
本製品 (10/100M LAN ポート) 〜 10BASE-T MAU 間	カテゴリ 3 以上対応の ストレートケーブル	100m

100BASE-TX の場合

接続	使用する UTP ケーブル	最長距離
本製品 (10/100M LAN ポート) 〜 ハブ間	カテゴリ※1 5 対応の クロスケーブル※2	100m
本製品 (10/100M LAN ポート) 〜 パソコン間	カテゴリ 5 対応の ストレートケーブル	100m
本製品 (10/100M LAN ポート) 〜 100BASE-T MAU 間	カテゴリ 5 対応の ストレートケーブル	100m

※1　UTP ケーブルのカテゴリとは、ケーブルの品質を表すもので、カテゴリ 3 よりもカテゴリ 5 の方が高速伝送に対応していることを示します。

※2　ハブのカスケードポートに接続するときは、ストレートケーブルを使用します。カスケードポートの有無は、接続するハブのマニュアルで確認してください。

リピータハブやデュアルスピードハブでネットワークを構築する際は、規格上、以下のような制限があります。

これらの制限を越えて接続すると、ネットワークが正常につながらないことがあります。

カスケード接続の段数

100BASE-TX の場合　－　2 段まで接続可能
10BASE-T の場合　－－　4 段まで接続可能

1
準備

カスケード接続時のパソコン間の総延長距離

100BASE-TX の場合 － 205m 以内
10BASE-T の場合 －－ 500m 以内

メモ スイッチングハブを使用すると、上記の制限を越えてハブの追加や距離の延長ができます。
例：10BASE-T のリピータハブで 4 段のカスケード接続をしている場合は、スイッチングハブを使用することにより、さらにリピータハブを 4 段カスケード接続できます。

AirStation は、10/100M に対応した 4 ポートスイッチングハブを内蔵しています。パソコン 4 台までの環境ならば、AirStation のみでインターネット共有やパソコン間のファイル共有など LAN の機能がご利用できます。また、パソコン 5 台以上の環境でも別途ハブを追加することにより、同様の LAN 機能がご利用できます。